

大豆特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

梅雨時期に備えた排水対策の徹底と適期の培土作業や雑草対策を行い、収量及び品質向上に努めてください。

1 排水対策 ～根域の拡大と湿害防止のため、必ず行いましょう～

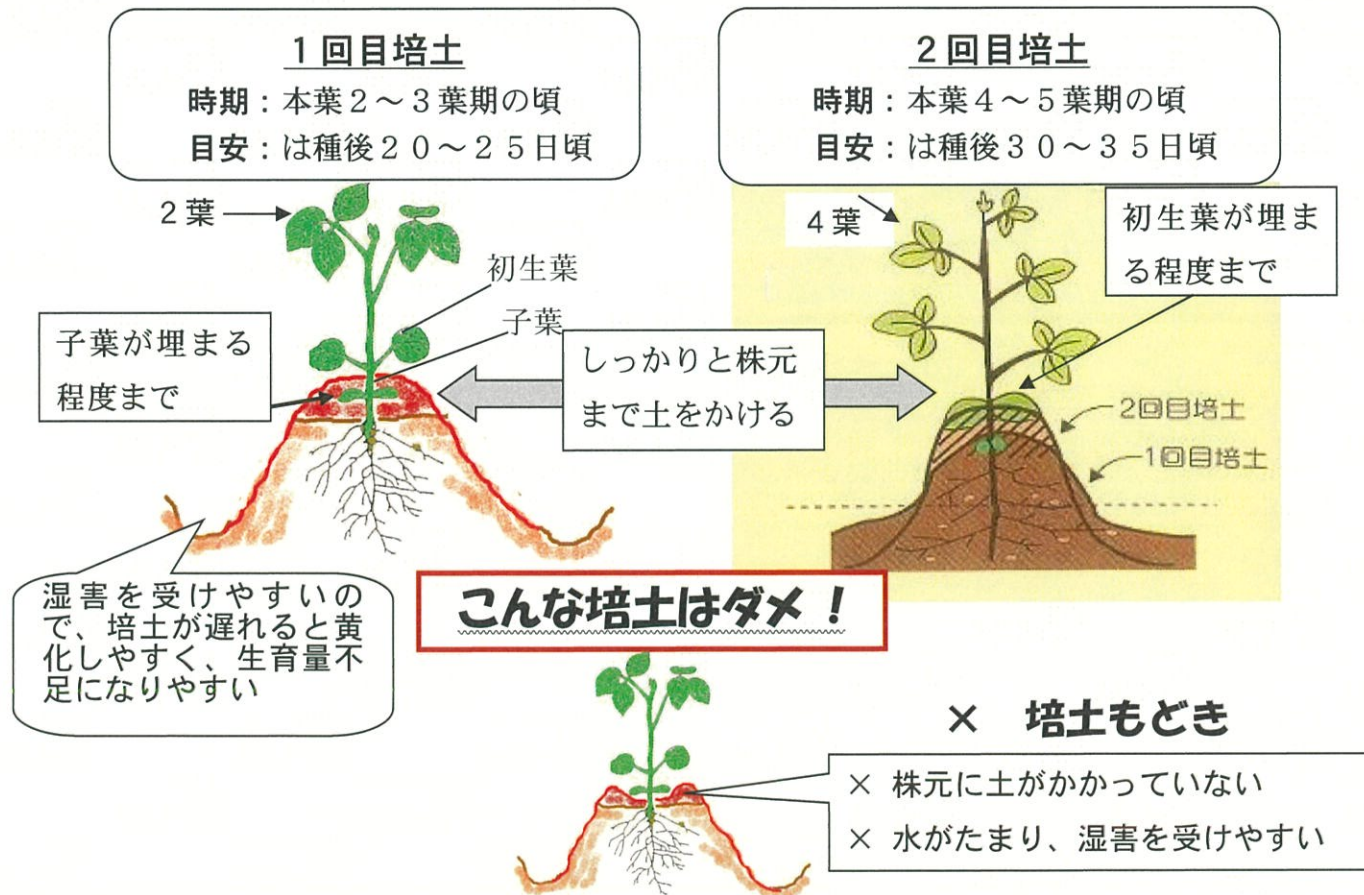
- 培土後にできた溝は、速やかに額縁排水溝や深く掘り下げた排水口と連結し、溝に水がたまらないようにしましょう。
- 降雨後に、溝の連結や排水溝の崩れた部分の手直しを行い、ほ場内に雨水が停滞しないよう点検・補修を行いましょう。

2 培土

～排水の促進、根域の拡大、雑草の抑制、倒伏防止に効果があります～

【作業のポイント】

- ① 培土作業は適期を逃さず、行いましょう。
- ② ほ場が乾いている時に作業をしましょう。
- ③ 株元までしっかり土を寄せましょう。



生育促進・収量増加のため、培土は遅れず実施しましょう。

3 雑草防除 ～草種にあわせて、適期に除草剤を散布する～

【イネ科雑草】

除草剤名	使用方法(10aあたり)	使用回数	使用方法	使用時期
ポルトフロアブル	薬剤 200～300ml 希釈水量 50～100ℓ	2回以内	雑草茎葉散布 又は全面散布	イネ科雑草3～10葉期 (スメリカ死'うを除く) 但し、収穫30日前まで

- ・イネ科雑草のみを選択的に枯死させます。
- ・茎葉処理剤なので、イネ科雑草が生え揃った初期の段階に遅れず散布しましょう。

【広葉雑草】

除草剤名	使用方法(10aあたり)	使用回数	使用方法	使用時期
大豆バサグラン液剤	薬剤 100～150ml 希釈水量 100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布	大豆2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し、収穫45日前まで

- ・散布時期の目安は、大豆のは種後20～25日頃(大豆の本葉2～3葉期)です。
- ・イネ科雑草には、効果はありません。

【非選択性除草剤】

除草剤名	使用方法(10aあたり)	使用回数	使用方法	使用時期
バスタ液剤	薬剤 300～500ml 希釈水量 100～150ℓ	3回以内	畦間処理 株間処理	株間処理は本葉5葉期以降 但し、収穫28日前まで

- ・畦間処理及び株間処理は、つり下げノズルを使用し、大豆の本葉にかからないよう注意して、薬剤を散布しましょう。